

# 臼井・千代田地区の概要

## 臼井地区

臼井地区は、北に印旛沼、東西に鹿島川、手繰川と三方を河川に囲まれている。歴史的には、鎌倉時代に平氏一族の臼井氏が拠って以後発展し、江戸時代中期以降は成田街道の宿場として賑わった。

昭和53年、区画整理地の中に京成臼井駅が移転し、これを中心にショッピングセンターや商店などが集まった地区が形成され、臼井地区の新しい核となっている。

また、街の賑わいに水と緑と歴史に恵まれた環境を活かして、臼井ふるさとにぎわい祭や佐倉チューリップまつりなどのイベントが開かれる他、計画的なまちづくりが進んでいる。

## 千代田地区

千代田地区は、佐倉市誕生後に四街道市（当時四街道町）から編入した5地区から成っている。大半は農業地域であったが、北部の生谷・飯重・吉見地区には、現在大手開発業者による大型宅地開発（染井野）に伴い、公園が整備され小中学校があいついで開校するなど、公共施設も充実してきた。21世紀初頭には、人口約1万人の新しいまちが完成する計画であった。地区全体としては、都市形成が進む北部地域と従来からの農業地域に二分しつつあるといえる。

古くからある団地内では自治会・文化活動、農業地区では地域ぐるみの農業と、コミュニティー活動がさかんである。この活動の輪は、住民の交流としていざという時に助け合う「防災姉妹地区制度」の調印市内第一号という形でも表れている。

# 管理・運営の部

## 1. 公民館運営計画

### 運営方針

臼井公民館は、常に地域の実態や市民生活の急速な変容にともなう学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりをめざす市民の連帯意識を高める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を助成し、よって、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設として、その役割を果たすことに務める。

### 努力目標

より多くの市民に親しまれ、活用される公民館として、その学習環境づくりに務める。

市民の自主的な学習活動を援助するために、各種情報・資料の整理・提供に務める。

学級・講座の精選と学習内容の充実に務める。

複合施設（市民音楽ホール等）の持つ機能をより効果的に発揮するための研修、調査を進める。

### 事業内容

#### 1. 学級・講座の開設

地域の特性を考慮しながら市民生活に身近な課題をとりあげて、継続的・体系的に学習していく。また、与えるだけの学習ではなく、参加者が自らつくり出す学習をめざし、内容を充実させていく。

#### 2. 団体育成事業

各種の団体が自主的・継続的に充実した活動が進められるように、情報資料の提供や適切な助言、各機関との連絡調整を行う。

#### 3. 広報・展示事業

学級・講座のお知らせや、グループ活動の紹介、その他さまざまな情報を提供し、公民館への認識と理解を深める。

市民の学習活動の発表展示の場として、広く市民に展示室を提供する。また、郷土の自然・生活・文化・芸術その他市民生活に関することなど幅広い分野からテーマを設定して展示会を開催する。

#### 4. 図書事業

市立図書館の分館的機能を持ちながら、複合館としての特殊性と地域性を考慮つつ運営していく。音楽関係図書の充実と一般図書・児童図書の蔵書数の増加をめざし、利用増大をはかる。

#### 5. 施設・設備提供事業

開館日・貸出時間 第1・3・5月・火・木・日曜日及び祝日 9:00～17:00

水・金・土曜日 9:00～21:00（夜間の利用のない場合は17:00まで）

（ただし、図書室は第1火曜日を除く火～日曜日の9:00～17:00に業務を行う）

使用の受付は原則として、2カ月前の月初めに設定した利用抽選日から、月2回分の予約を受け付ける。3回以上の使用は使用日の前々月末日から受け付ける。

休館日 第2・4月曜日、年末年始（12月28日～1月4日）、施設保守点検日

その他 ・使用料については市民音楽ホールを有料で使用する団体には有料で、減免又は無料で使用する場合は無料で提供する。

・利用抽選会は2ヶ月前の月初に実施し、予約を入れていく。これは各団体が一堂に集まる機会でもあるので、団体交流と公民館活動への認識を深める場としても有効に利用する。

## 2 . 公民館利用状況

### 年度別利用状況

年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
区分					
利用件数	2,282	2,585	2,526	2,561	2,548
利用人数	43,840	42,304	45,323	47,920	44,428
開館日数	312	334	333	333	333

# 十 事 業 の 部 十

## 事業一覧

領域	事業名	対象・参加実数	期間・回数	内 容
家庭 教育	おはなし会 1) おはなし会	小学生～成人 243人	月1回 土曜日 (除8月) 11回	子どもたち向けに、すばなしと絵本の読み聞かせによるおはなし会で本の世界に親しんでもらいました。
	2) テーマ設定 「おはなしと遊ぼう」	4歳児～成人 167人	奇数月 土曜日 6回	奇数月はテーマ(今年は「おはなしと遊ぼう」)に沿った作品を集め、年少の子にも対象を広げました。
	3) 夏休み特別	小学生～成人 149人	8月23日 午後2回	また、夏休みには「こわ～いおはなし会」として国内外の怖いお話を披露し、子どもから大人まで聴き応えのある、一時の涼感を届けました。
	絵本と わらべうたの会	2・3歳児と親 春～冬4期 350人	4～2月 春/夏/秋/冬 火曜各3回 計12回	絵本の読み聞かせと楽しいわらべうた遊びで、親子の繋がりを深めました。初参加者とリピーターが半々で安定した良い環境の講座です。
	親子 ふれあい遊び会	2・3歳児と親 15組 36人	2月13日 火曜1回	子育て支援の事業として新設しました。親子や友達と楽しく遊びながら、つながりを深めていきます。 協力：子育て支援課、白井保育園
青少年 教育	手づくり楽器教室	小学校 5・6年生 20人	7月 25/26/27日 3日間	楽器の製作を通じ、モノを作る喜びと演奏の楽しさを感じられる内容です。木を組み合わせてシロフォンを作りました。
	水辺の自然観察会	小学校 4～6年生15人	7月 31日(月)	講義と谷津田から印旛沼までの野外観察で佐倉の自然を楽しく学びました。 共催：環境政策課
	優秀映画鑑賞推進 事業	小学生～ 一般 284人	8月 30・31日  4作品上映	国立近代美術館フィルムセンター所蔵映画の中から「親が子に伝えたい名作アニメ」を選んで上映した。 「西遊記」「太陽の王子 ホルスの大冒険」「長靴をはいた猫」「火垂るの墓」

成人	ふれあい交流体験事業	小学校 4～6年生15人	11月 25・26日 (土・日)	青少年が佐倉市の地域を広く知るために1泊2日の日程で、様々な体験を通じ地域文化・自然・歴史を学びました。 共催：生涯学習課、公民館
	水彩画入門 - 私 が好きな佐倉 -	一般 20人	6/2・9・16 ・23・30 (金)全5回	実技主体に水彩画の初歩を学びました。 身の回りのものや風景を見る目が養われ、風景画を作品に仕上げました。
	佐倉学総合講座	講演会 99人 講座 70人	9月9日(土) 10～12月 (土日祝) 講座4回、 散策2回	「江戸時代の書物から佐倉を学ぶ」を今年度のテーマに始めた講座。臼井公民館では講演会(歴博・大久保純一)と講座(成田高校・鍋木行廣)を1本ずつ担当した。
	ちょっといいところ 見て歩き	中学校～成人 14人	11/15・22・29 12/6(水) 4回	見学学習を通し、佐倉の歴史・文化を知ると共に自然と環境の変化も考えます。 今年は「大人も社会科見学」として様々な施設見学を組み入れました。
教育	裁判員制度講習会 (同 DVD上映会)	一般 13人 4人	12/16(土)	誰もが候補者となり得る裁判員制度について、内容や問題点について知るための入門講習会を実施しました。
	アートなお仕事 体検隊	小学校4年生 ～成人 3/10(土) 36人 3/18(日) 14人	音楽ホール 3/10(土) 市立美術館 3/18(日)	音楽ホールや市立美術館の普段見ることのできない裏廻りを見学し、演奏会や展覧会がどういう流れで、でき上がっていくのかを学習しました。本年度はホールで舞台作業など、美術館ではスツール作製を体験しました。
	交通安全教室 (シニアドライバー 教室)	普通免許所持者 8人	3/16(金)	今回はシニア対象に安全運転の基本に立ち返り、「思い込み」や「ウッカリ」をなくす運転を学びました。協力：(社)日本自動車連盟千葉支部
	民話学習会	一般 344人	9～2月(水) 6回	各地の民話や語りについて学ぶ学習会を開催しました。「佐倉の民話を中心に日本各地の民話や昔話を次の世代に伝えていきたい」と活動する佐倉おはなしの会との共催です。
広報 ・ 展示	公民館だより 第15号発行	一般	3月	公民館に関するさまざまな情報を提供しました。
	水彩画作品展 - 私が好きな佐倉 -	出品：水彩画講座 受講生ほか	7月4～9日 (6日間)	水彩画入門受講生の学習成果を発表し、水彩画の楽しさや佐倉の景観の素晴らしさを多くの方に知っていただく機会となりました。入場203人

団 体 育 成	白井地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 16団体	通年	単位子ども会の円滑な運営をはかる ための相談・研修・情報交換や自主 事業を実施、親睦を深めました。
図 書 事 業	図書の貸出し	幼児～成人	通年	市立図書館と連携し、図書の貸出し ・返却受付、相談などを行いました 18年度貸出冊数...135,443冊 利用者数...47,176人

# 1 . 家庭教育事業

## おはなし会

### おはなし会

開設趣旨 子どもにおはなしをすることで、物語（ストーリー）に親しませ、子どもと本をむすびつける。

対象・人数 小学校低学年～成人・のべ243人

開催期間 毎月第1土曜日（原則、8月を除く）11回 14時～14時40分

内容 すばなし3つを佐倉おはなしの会の会員に話してもらう。

会場 臼井公民館（学習室）

協力者 佐倉おはなしの会

### 学習プログラム

月 日	す ば な し		
4 / 8	へびのくいあい	いたちのこもりうた	おどりトラ
5 / 13	みみずとへび	すえっことねこ	うりひめ
6 / 10	やねがチーズでできた家	白きつねのおよめさん	ギアッコと豆
7 / 1	大鳥とえびとかめ	笛吹イワヌーシカ	天人女房
9 / 2	ヤギとライオン	だまされたえんま大王	さんにんのいとつむぎおんな
10 / 7	こぶとりじいさん	こなべどん	たかのさらわれこ
11 / 11	おばあさんとぶた	びんぼうこびと	ききみみずきん
12 / 2	金色とさかのおんどり	子うさぎましろのお話	おおとしの火
1 / 13	トウエムどんときつね	もえるこや	はなたかおうぎ
2 / 3	つららのよめっこ	ランパンパン	スヌークスさん一家
3 / 3	カメの遠足	ねこの絵とねずみ	天のかみさま金んつなください

### 講座を終えて

耳で聞く読書活動ともいえるおはなしを通して、子どもたちは心を豊かにし、さまざまなことを吸収している。何度も通ってくる子の他にも、さらに参加者を増やし広めたい。

### テーマ設定（おはなしと遊ぼう）

開設趣旨 すばなしの他にパネルシアター・絵本の読み聞かせや人形劇などを組み合わせ、年齢の低い子どもたちにも「物語の世界」を楽しめるようにする。

今年度は「おはなしと遊ぼう」をテーマに、動きのある楽しいおはなしとなるよう、工夫して実施した。

対象・人数 4歳児以上・のべ167人

開催期間 年6回、奇数月第1土曜日（原則） 15時～15時40分

内容 「おはなしと遊ぼう」をテーマに、楽しいおはなしを揃えた。

会場 臼井公民館（学習室）

協 力 者 佐倉おはなしの会

学習プログラム

月 日	内 容
5 / 13	おかあさんだいすき(ペ) どうながのプレツェル(絵) カエルくんとへびくん(す)
7 / 1	わすれもの(パ) ピーターのいす(絵) バビブベボ化け(す)
9 / 2	わすれものパート2(パ) ね、ぼくのともだちになって(絵) おんちよろちよろ(す)
11 / 11	うさぎのゆうびんやさん(パ) 10までかぞえるこやぎ(絵) もぐらむかし(す)
1 / 13	うさぎのゆうびんやさん ふゆ(パ) セルコ(絵) さんびきのくま(す)
3 / 3	たんぼぼ(パ) ぼくびょうきじゃないよ(絵) 二匹のよくばりこぐま(す)

記号：(パ)...パネルシアター、(絵)...絵本の読み聞かせ、(す)...すばなし、(ペ)...ペープサート

講座を終えて

一昨年度から新しい試みとして始めた、テーマを設定のおはなし会も3年目に入った。読み聞かせの他にパネルシアターやペープサート(紙に描いた人形の劇)など、内容に幅を持たせたことで年少のうちから絵本やおはなしに親しめる学習環境を整えた。より多くの参加があるよう、周知に努めたい。

夏休み特別おはなし会 -こわ~いおはなし-

開 設 趣 旨 子どもにおはなしをすることで、物語(ストーリー)に親しませ、子どもと本をむすびつける。

対 象 ・ 人 数 小学生以上・計149人

開 催 期 日 8月23日(水曜日) 第1部 14時~14時40分  
第2部 15時~15時40分

内 容 すばなし

会 場 臼井公民館(集会室) (関係書籍の展示...学習室)

協 力 者 佐倉おはなしの会

学習プログラム

	す ば な し			
第1部(外国編)	ギーギードア	墓場のダンス	死神の名づけ親	魔女のシチュー
第2部(日本編)	ばあさんねこ	印旛沼のいっぽんあしと かっぱのてんぐ	カワボタル	おにのめだま

講座を終えて

大人でも充分聴き応えのある内容と暗く小道具でしつらえた会場で、「語り」のもつ大きな力を感じ、ひんやりと涼しいひとときを過ごせたようである。

また、夏向きの「怖い話」などの関係図書の展示を通じ、図書貸し出し冊数増加につながる普及活動となった。

## 絵本とわらべうたの会

開設趣旨 親子一緒に参加する絵本の読み聞かせとわらべうた遊びを通して、良好な親子関係を醸成する。

対象・人数 2歳児と親、15組

開催期間 春 4月25日/5月16日/30日(火曜日) 10時~11時

夏 6月20日/7月4日/18日(火曜日) 10時~11時

秋 10月17日/31日/11月7日(火曜日) 10時~11時

冬 1月30日/2月6日/28日(火曜日) 10時~11時

内容 幼児向け絵本の読み聞かせ(3冊程度)と親子でスキンシップできる、季節にあわせたわらべうた遊びを組み合わせで行う。

会場 臼井公民館(集会室)

指導者 グループ ののはな(林 紅仁子、高島祐子、藤原道子)

講座を終えて

子育て支援の願いも込めて始めた事業は好評で、4年目となった。希望者は多く、継続受講者と新規受講が半々ほどのバランスがとれた構成ができている。高度情報化社会が言われて久しいが、人から人へという人間本意の活動が、特に子育て中の親(母親)に求められていることを強く感じた。

3人の講師の創意や熱意が受講者に伝わっていることは終了時のアンケートにも明らかであり、これからも継続して実施したい。

## 親子ふれあい遊び会

開設趣旨 親と子が様々な遊びを通して、きずなを深める。指導には保育士のほか市民有志(子育て中の母親)が加わり、子育て支援事業の一環として、将来的にはサークル化を念頭に置いて実施する。(協力:子育て支援課・臼井保育園)

対象・人数 2歳児と親、15組

開催期間 2月13日(火曜日) 10時~11時

内容 臼井保育園の保育士の指導で、手遊びや身近にあるもので楽しく遊べることを実際の遊びを通して学ぶ。

会場 臼井公民館(集会室)

指導者 臼井保育園保育士

講座を終えて

穴を開けてくぐったり、丸めたり、細かくちぎって雪のように舞わせたり。家庭から持ってきた新聞紙で、こんなに楽しく遊べるなんて...。参加者は、少しの物と創造力に子を思う心が加われば、いつでもどこでも楽しいひとときが生まれることを学んだのではないだろうか。

「絵本とわらべうた」講座の参加者の中から、積極的に指導側に進んで下さった方を中心に、次年度本格始動させる予定の本事業プレ・イベントとして、確かな手応えが得られた。

## 2. 青少年教育事業

### 手作り楽器教室

シロフォン - 作って鳴らそう -

開設趣旨 青少年が、自らの手でものを創り出す喜びと演奏する楽しさを体験する。

対象・人数 小学校5・6年生 20人

開催期間 7月25・26・27日(3日間) 13:30~15:30

内容 木の特性を活かしながら、切り磨き組み合わせてシロフォンを作り、音を出してみる。(音楽ホール共催)

会場 白井公民館(創作室)

指導 アトリエ そう・わーくす(奥津輝久)

#### 学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	指 導 者
1	7月25日(火) 13:30~15:30	製作実習	板を組み合わせて、四角い箱を作る。	アトリエ そう・わーくす
2	26日(水) 13:30~15:30	製作実習	箱を磨いて滑らかに、堅木の薄板をネジ止め。パチを作る。	アトリエ そう・わーくす
3	27日(木) 13:30~15:30	製作と 演奏体験	全体を仕上げ、さあ音を出してみよう。	アトリエ そう・わーくす

#### 講座を終えて

今回の手作り楽器教室では、木を組み合わせて作る“シロフォン”を採り上げた。単純な構造ながら、質感を活かし紙ヤスリで磨いて滑らかにする作業を通じて「木の持つ温もりを感じてほしい」という講師の意向が反映された作品となった。

### 水辺の自然観察会

開設趣旨 子どもたちに佐倉の自然を身近に感じ、守り伝えることの大切さを学んでもらいたい。

対象・人数 小学校4・5・6年生 17人

開催期間 7月31日(月) 10:00~16:30

内容 講義と野外観察を通じ、身近な自然と環境について楽しく学ぶ。  
(共催：環境政策課)

会場 白井公民館(集会室)及び野外(直弥公園・上手繰川・印旛沼)

講師 郡司節郎・岩井久美子(財団法人 千葉県環境財団)ほか

学習プログラム 午前 - 講義「佐倉市の谷津の生きもの」スライドを使った講義

「水の流れ」地下水学習キットやスライドを用いて地下水の流れを学ぶ

午後 - 野外観察

昼食後、バスに乗り市内3箇所を巡り、さまざまな動植物を採取・観察

- 1．直弥公園谷津田生態系保全地域
- 2．上手繰川植生浄化施設
- 3．鹿島川河口・印旛沼

講座を終えて 環境政策課と共催で実施した事業で、2年目となる。

子どもたちは、午前中の講義で基本を学んだ上で、午後の過程へと進んだ。上流・中流・下流を順に巡り、それぞれで動植物を観察する機会となった。彼らの目は鋭く、ミズカマキリなど貴重な生物を真っ先に発見していたことに驚かされた。

皆には初めて見た湧水と印旛沼からくみ上げた水の違いを忘れずに、これからも自然環境の重要性を認識しつつ生活してほしい。

### 3 . 成人教育事業

ちょっといいとこ見て歩き

「大人も社会科見学」

開設趣旨 佐倉市内や近隣地域の歴史・文化を知るとともに、自然と環境の変化を考える。

対象・人数 一般・14人

開催期間 平成18年11月15日～12月6日(水) 全4回

学習目標 風景を読み、佐倉の歴史や自然を学ぶ力を養う。

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	指 導 者
1	11月15日(水) 9:30～17:00	見学学習	臼井～内郷地区へ (土浮・酪農家牛舎)	高橋 三千男(元中央公民館長) 松平 喜美代(千葉県自然観察指導員)
2	11月22日(水) 9:30～17:00	見学学習	根郷地区～第3工業団地 (大作・京セラソーラー エネルギーセンター)	高橋 三千男(同 上) 松平 喜美代(同 上)
3	11月29日(水) 9:30～17:00	見学学習	佐倉～臼井～千代田地区 (県企業庁佐倉浄水場・ 羽鳥調圧塔)	高橋 三千男(同 上) 松平 喜美代(同 上)
4	12月 6日(水) 9:30～17:00	見学学習	臼井～志津地区(上座浄 水場・団地開発)	高橋 三千男(同 上) 松平 喜美代(同 上)

講座を終えて

本年は「大人も社会科見学」と称して、市内各地を巡りながら各種の施設見学を併せて行った。

例年は歴史・自然・文化にポイントを置き週末に実施していたが、今回は施設見学が平日に限られるため水曜日に実施した。参加者が定員20人を割ったのは、これによるものかもしれない。

参加者からは「市内にこんな施設があったとは知らなかった」という声が多く聞かれた。定年退職者も含め、市民に市内施設をご覧いただき、歴史・文化に加え産業・経済・暮らしの一端までを学ぶ良い機会となった。

水彩画入門 - 私の好きな佐倉 -

開設趣旨 誰でも親しみやすい水彩画に取り組みながら、モノを見る目・色彩を捉える感覚を養う。

対象・人数 一般・20人

開催期間 平成16年6月2日(金)～30日(金) 13:30～15:30

学習目標 実技指導を受けながら、佐倉市の風景を対象として展示会出品作を制作する。

講師 柴宮忠徳(佐倉美術協会・立軌会会員)

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	指 導 者
1	6月 2日(金) 13:30～15:30	室内学習	用具の使い方・描き方を実習 実技1(手近なもので)花・果物など	柴宮忠徳
2	6月 9日(金) 13:30～15:30	室内学習	実技2(手近なもので) 靴・人形など	柴宮忠徳
3	6月16日(金) 13:30～15:30	屋 外 スケッチ	風景をスケッチするため屋外へ。 (印旛沼・佐倉城址公園)	
4	6月23日(金) 13:30～15:30	室内学習	風景作品制作ほか	柴宮忠徳
5	6月30日(金) 13:30～15:30	室内学習	風景作品制作	柴宮忠徳

講座を終えて

水彩画入門として3年目になる講座は、今年度「私の好きな佐倉」と題して風景画制作に臨んだ。毎回希望者が多く、今回も抽選で20名を選び、実技主体に全5回で実施した。1・2回目に室内で静物を描き、3回目に屋外で写生、あとの2回で作品に仕上げた。

「まず描いてみましょう。」初日、穏やかな講師の声に、絵筆を持つのは久しぶりで戸惑いながらスケッチをはじめた受講者が多数だったように見受けられた。しかし僅か1ヶ月の間に全員が作品を完成させ、7月4日～9日まで展示室で作品展を開催した。それぞれが感じている「私の好きな佐倉」の風景を描き、展示することでより多くの方々に知ってもらい、よい機会になったことと思う。

**訃報**「はじめての絵てがみ」「水彩画入門」と、9年にわたり公民館講座をご指導くださった柴宮忠徳先生が、3月初めにお亡くなりになりました。長年のご厚誼に深謝するとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。

アートなお仕事体験隊

開設趣旨 市内にある文化・芸術分野の施設である音楽ホールと美術館で、普段見ることのできない「舞台裏」を見学、事業がこういった仕事の積重ねで完成されるのかを学びます。

対象・人数 小学校4年生～成人まで 市民音楽ホール 36人  
市立美術館 14人

開催期間・会場 3月10日(土) 10:00～12:00 市民音楽ホール  
3月18日(日) 13:00～16:00 佐倉市立美術館

学習目標 今回は様々な体験を通じて、何気なく見ている催し物を多角的な視点から捉え、より楽しく鑑賞できるようにすることに主眼を置いた。鑑賞時の興味や理解度を高める他、文化施設が親しみを持って入れる身近な施設と感じられるようにする。

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	指導者	会場
1	3月10日 (土)	見学学習	幕から音響反射板への転換(舞台)、卓調整(音響)、スポットライト当て(照明)など裏方作業を体験・見学して、舞台が作られるまでを学ぶ。	音楽ホール 職員	佐倉市民 音楽ホール
2	3月18日 (日)	見学学習	「森谷延雄展」 担当学芸員による展示解説と木箱からスツールを作る工作を併せて行い、佐倉出身の家具デザイナー・森谷の業績を学んだ。	美術館学芸員 (展示解説)  アトリエ そう ・わーくす (工作指導)	佐倉市立 美術館  展示室と エントランスホール

講座を終えて

「アートなお仕事探検隊」も、すっかり恒例の事業となった。今回は「体験」に主眼を置き、各施設でいろいろな体験作業を組み入れた。

音楽ホールでは、客席からうかがい知ることができない、様々な裏方の仕事を目の当たりにしするだけでなく、幕の袋詰めやピンスポット当て・ストリートオルガン演奏などの作業を体験し、事業の成り立ちをより深く学んだ。

美術館では、森谷が大正13年に発表した雑誌の記事「ビールの空箱で出来る卓子と椅子」に着想を得て、ワインの木箱からスツールを製作した。参加者は慣れない作業に戸惑いながらも、箱の解体から切断・組み立てまで体験し、佐倉が生んだ家具デザイナーの業績に一層迫れたものと思う。

本講座を通し、鑑賞者が目にする以前の下準備にはこういったものがあり、どうした苦労があるのか、その一端を理解し文化施設に対してより多くの興味を持ち、良い意味で他の人とは違った視点からも鑑賞できる、文化事業の良き理解者となっただけであれば幸いです。

## 交通安全教室 シニアドライバー教室

開設趣旨 さまざまな市民が利用する公民館を会場に、日常生活に欠くことができなくなっている自家用車の安全運転を推進し、安全意識の徹底を図る。

開催期間・会場 3月16日(金) 14:00~15:00 学習室

対象・人数 50歳以上の方 8人

学習目標 安全運転の基礎を確かなものにする。

学習プログラム 社団法人 日本自動車連盟(JAF)千葉支部派遣の講師による講義で、ベテランドライバーに対して安全運転の基本を再確認できる内容を伝える。

講座を終えて 運転経験が長くなると陥りがちな、基本の見落としや誤った「常識」によるミスをなくすにはどうしたらよいか。

JAFの実験映像や統計資料などにより、ドライバーの目で見て考えることの重要性を学んだ。視野を広く持ち、「常識」に囚われない運転で一層の安全運転を心がけるよう認識を新たにした。

## 4 . 広報展示事業

### 広報事業

臼井公民館だより(15号)

- 趣 旨 公民館事業、グループ活動等を紹介し、公民館活動の理解を深め積極的な参加を図る。
- 発行回数 1回(3月)
- 及び部数 1,000部
- 規格等 A4版4ページ、1色
- 配布方法 公民館・ホール内のチラシ置場等に設置。

### 展示事業

水彩画作品展 ~私の好きな佐倉~

- 開設趣旨 「水彩画入門」受講生の作品を中心に集まった作品を一堂に展示。発表を講座の一課程と位置づけるとともに、水彩画を描く楽しさと佐倉の景観の素晴らしさを多くの市民に広めたい。
- 出品者数 出品者 34人(出品数 34点)
- 開催期間 平成18年7月4日(火)~7月9日(日)
- 展覧会を終えて この展覧会は「水彩画入門」講座と連動して新たに始めたものである。受講生が、作品制作にはじまり展示作業まで関わることで、一連の知識を得られるものと考え。今回は日々の展示当番も受講生が分担、見学のかたとの会話や感想を聞く良い機会となった。

### 展示室の貸出し

市民ギャラリーとして、広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供している。グループの発表に使いやすい施設との評判をいただき、年間利用団体が30団体を超過している。

開室日・開室時間 月(第1・3・5)・火・木・日曜日 9時~17時  
水・金・土曜日 9時~21時

休 室 日 第2・4月曜日、年末年始等

使用について 予約受けは6ヶ月前から

貸出期間は1団体、火曜日から日曜日までの6日間を基本とする。

使用料について 原則として無料。但し、個展・先生展・教室展示会等営利や売名行為的内容のあるものや、市外の方の使用については有料とする。

使用料 午前960円、午後1,280円、夜間1,260円

・18年度開催展示会一覧

行 事 名	主 催 者	期 日	入場者数
順水墨画展	順水墨画会	4月18日～23日	232人
刻字展	佐倉刻字愛好会	4月25日～30日	285人
観光写真コンクール入賞作品展	佐倉市観光協会	5月3日～7日	155人
アピロン展	アピロン	5月9日～14日	327人
臼井ルネサンス展	臼井ルネサンス会	5月16日～21日	525人
花卉展示会	佐倉皐月会・野草会	5月27日～29日	313人
書道展	香椎会	6月7日～11日	376人
杉の子グループ展	杉の子会	6月20日～25日	477人
ドール作品展	うさぎの会(有料)	6月29日～7月1日	179人
水彩画作品展～私の好きな佐倉～	臼井公民館	7月4日～9日	203人
彩流会展	彩流会	7月18日～23日	414人
ヴァール展	ヴァール	7月25日～30日	345人
その日その日の作品展	舟戸書会	8月25日～27日	154人
春秋展	春秋会	9月5日～10日	423人
市高連作品展	佐倉市高齢者クラブ 連合会	9月13日～15日	148人
草花の水彩画	花よう美の朝	9月19日～24日	262人
絵画 風	風	10月5日～8日	138人
パレットユーカーリ絵画展	パレットユーカーリ	10月10日～14日	213人
華道展	市民文化祭実行委員会	10月21日～22日	274人
手工芸展	市民文化祭実行委員会	10月26日～29日	686人
園芸展	市民文化祭実行委員会	10月27日～29日	723人
水墨画展	墨縁会	10月31日～11月3日	310人
水墨画展	墨珠会	11月7日～11日	319人
油絵 葦の会展	葦の会	11月21日～26日	479人
写真展	シバ-人材センター-写真同好会	12月5日～10日	249人
サンエス絵画展	サンエス・アート研究所	1月16日～21日	464人
しづ美術サークル展	しづ美術サークル	1月30日～2月4日	404人
アート オブ パラダイス	リブ・フォーエヴァー	2月7日～11日	283人
木目込み人形展	まきな会	2月20日～25日	601人
ワールサークル絵画展	ワールサークル	2月28日～3月4日	421人
アピロン絵画展	アピロン	3月6日～11日	380人
油絵 白蝶会展	白蝶会	3月13日～18日	537人
書道展	書を楽しむ会	3月23日～25日	90人

\* 入場者数は主催者届け出による

## 5 . 図 書 事 業

開室日・開室時間 火（第1火曜日を除く）～日曜日 9時～17時

休 室 日 月曜日・第1火曜日・年末年始・特別整理期間

貸 出 方 法 登録制で貸出券による。

1回につき1人10冊まで15日間貸出す。

蔵 書 数 ・一般図書 26,696冊 ・郷土資料 1,687冊  
 （音楽関係図書を含む） ・その他 24冊

・児童図書 11,545冊 ・楽 譜 4,095冊

蔵書冊数 44,749冊（平成19年3月末現在）

・雑 誌 24誌 ・新 聞（朝刊）8紙

### 月別図書室利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	3,855	3,908	3,830	3,993	4,313	3,986	3,927	3,922	3,477	3,827	3,900	4,283	47,176
貸出冊数	11,540	11,259	10,845	11,713	12,557	11,378	11,011	11,254	10,260	10,986	10,758	11,882	135,443
開館日数	25	25	25	25	26	25	25	25	22	23	23	26	295

図書室は図書館分館的な機能を持ちながら、音楽ホールとの複合施設として、児童・一般図書の他、楽譜・音楽関係図書の充実をはかり、特色ある図書室運営をめざす。

## 6 . 団体育成事業

臼井地区子ども会育成会連絡協議会(臼井子連)

臼井地区の単位子ども会の発展をねがい、関係機関団体との連携をはかりながら、各育成会同士の情報交換や育成者の研修を行う。

加盟団体数 16 団体

主な事業

- 4 / 14 (金) 総会・安全会説明会
- 8 / 19 (土) 臼井ふるさとにぎわい祭りに参加(模擬店出店・チャリティー寄付)
- 10 / 21 (土) 中央交流フェスティバルに参加(於:七井戸公園)
- 3 / 28 (水) 臼井子連子ども会員(小学6年生)バスハイキング  
「鋸山登山と東京湾フェリー周遊」(千葉県富津市ほか)

かたりべの会

昭和60年度の講座「民話を語る会」の受講生を中心に、昭和61年2月に発足。子どもにお話しを語ることを目的に、毎月1回、お話の練習として定例会を行っている。

定例会 第2水曜日 10時~12時 各人が覚えてきたお話を語り、後で感想を述べあうなどして、技術の向上を図る。月1回、会だよりを発行。

会 員 25名

活動記録 定例会 4 / 12・5 / 10・6 / 14・7 / 12・9 / 13  
10 / 11・11 / 8・12 / 13・1 / 10・2 / 7・3 / 14

毎月第3月曜日に、文庫「小さな図書館」にて、おはなし会を開催。